



D O N C どんく

発行

三重日仏協会

SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

〒514-0006 津市広明町418
418, Komei-cho Tsu-shi
TEL 059-226-2766
FAX 059-229-0967

N° 81 mars 2008 SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

日仏修好150周年記念

3月22日

文芸講演会「日本近代文学とフランス

— 紅葉、漱石、鏡花に見るフランス作家の影 —

例年興味深いお話で当地でもすっかりおなじみとなった柏木隆雄先生（大阪大学教授・フランス文学）にお願いし、特に日仏関係の記念すべき年にふさわしく表記のような講演会を開催いたします。多くの日本人が強い関心をいadakテーマですので、会員だけでなく広く一般に呼びかけて盛大な催しにしたいと思います。

3月22日（土曜日）午後2時30分（2時受付開始）より 約2時間の予定

アスト津3階 津市羽所町（津駅すぐ前） 入場無料

なお、講演終了後、先生を囲んで懇親の集いをもちますので、参加希望者は事務局まで申し込んでください。

他の記念事業も計画中 「パリ・ブルゴーニュ・リヨンへの旅」など

昨年の本会創立20周年に続く記念の年だけに準備が遅れがちとなっていますが、事務局ではいま2008年度の年間計画を考慮中です。ワイン愛好者を中心に関心の高いフランス・ブルゴーニュ方面の古い町や街道、歴史遺産を、新酒解禁の季節11月に訪ねるとともに在仏の友人たちと交流を深める旅行なども候補にあがっています。ご期待ください。

国家レベルの記念事業も続々

日仏修好150周年を記念して両国でそれぞれ大きなイベントが計画されていますが、フランス側主催による日本での近日の催しを見てみますと、「ルノワール+ルノワール展」（2月2日～5月6日・Bunkamura, その後京都）、「ルオーとマチス」（3月8日～5月11日・汐留ミュージアム）、国際食品飲料展フランスパビリオン（3月11日～14日・幕張メッセ）、「フランス映画祭2008」（3月13日～18日・東京・大阪）、「京都フランス音楽アカデミー」（3月21日～4月5日・関西日仏学館）などです。



Mon voyage de nocces (僕の新婚旅行)

伊藤 雅人

運営委員の伊藤雅人さん（伊勢市・久居農林高校勤務）が昨年末にめでたく結婚、ベルギーとフランスに新婚旅行されました。お願いして豪華でグルマンな旅行の様子を日誌風に書いていただきました。

12月28日～1月4日まで、ブリュッセル・パリへvoyage de noccesに行ってきた。28日、成田発AFでパリへ。新婚旅行ということで、奮発してビジネスクラスに、食事のサービスはさすがに良い。飛行機降り、TGVの空港駅からブリュッセルのミディ駅へ。車内で配られてきた、アルザスビール「クローネンブルグ」を飲みながら、車窓に広がる田園風景を楽しむ。1時間45分で到着。陽気な黒人ドライバーのタクシーでホテルに。

29日、初めてのブリュッセルの空は曇り。歩いて中心部へ。ショコラティエ「マリー」に入る。店は小さいが上品な感じ。石畳の坂を下り、市内最古の教会、聖ミッシェル大聖堂に入る。たまたま世界各国の聖母子像の展示があり、日本の場合はマリア様が着物を着ていた。ヨーロッパ最古のショッピングアーケード、「ギャルリー・サンチュベール」に入る。入ってすぐに、地元で一番人気のショコラティエ「コルネ」があり、多くの種類のチョコが並んでいた。次に市内の食べ物屋横丁、イロ・サク



聖ミッシェル教会 日本の聖母子



ピエールマルコリーニ

レ地区に行く。店の前には魚介類や野菜が並べられ、呼び込みの兄ちゃんが、「コンニチワ」、「オイシイ」とカタコトの日本語で誘ってきた。市庁舎や市立博物館のある広場、グランプラスに行く。そこから少し歩いて行くと人だかりができてい、る、「小便小僧」だ。緑の服を着ている。次に、日本でも有名なショコラティエ、「ピエール・マルコリーニ」に行く。洗練されたデザインが購買力をそそる。夕食は16世紀の酒蔵を改造した「ケルデルク」。行く途中、場所がわからず地図を見ていたら、地元のご夫婦が声をかけてくれて案内してくれた。店に入ると、日本語メニューを持ってきた。野ウサギのジビエ料理と野菜サラダを注文、まずはベルギービールで乾杯。料理は美味しく、次

から次へと客が入ってきては、満席で仕方なく帰っていくのも頷ける。30日、朝からブリュッセル公園の中を歩いて王宮へ。王宮前でスペイン人カップルに写真を撮られたので撮る。別れ際に、「サヨナラ」と日本語で言ってきたので、こちらも「アディオス」とスペイン語で返す。王立美術館に入る。「小便小僧」の前を通ったら、今日は服を着ていなかった。夕食は「ヴァンサン」へ。入り口がなんと厨房。ビールとムール貝、そしてお店のスペシャリテ、ステーキを注文。ステーキは客の前でフランベしていた。隣に座ったご夫婦と話す。ご主人はスイスのバーゼル出身、婦人はブリュッセル出身だ。バーゼルは3年前に行ったので、話もはずみ、ブリュッセル最後の夜を楽しんだ。31日、ミディ駅からTGV、空港駅からロワシーバスに乗りオペラに着く。ホテルに着き、ギャラリー・ラファイエットに出かける。多くの人で賑わっていた。夕食は、ホテル近くの「サッポロラーメン」で、味噌ラーメンとカレーセットを注文。味は“まあ仕方ないか、二度と来ないな”って感じ。店を出てコンコルド広場へ。シャンゼリゼ通りに向かって、皆歩いて行く。ホテルに戻り、「マキシム・ド・パリ」のシャンパンと、つまみのあられでカウントダウン。「Bonne année!」

1月1日。お店はほとんど休みなので、パリを歩いた。ノートルダム寺院の中に入るのに、大勢の人が並んでいた。夕方、8区にある日本人パティシエールの店、「La Petite Rose」に行く。夕食はホテル近くの中華で食べる。2日、パリ在住の知人と3人でサントノレ通りのお店へ。続いて菓子道具屋に行くが休みで残念。サンジェルマン・デ・プレにある、今注目のショコラティエ、「パトリック・ロジェ」に入る。昼食は、「Vins et Terroirs」という店に入る。手狭な店だが、手頃な値段で美味しかった。たまたま入ったが当たりだった。ラスパイユ通りのショップに行き、ホテルに戻る。夕食は、6区にあるレストラン、「Le Petit Verdot」。夕張出身のオーナーの店で、サーモンとウサギのパテ、アルザスワインの白で、パリ最後の夜を楽しむ。3日、パリ13:15発のAFで、帰国の途につく。



ANNONCE ドミニク・ドゥーセの〈カフェ・ラウンジ〉オープン

鈴鹿市南江島町（白子駅北）のかつてのレストランを新装してこのほど開業しました。各種サンドイッチとフランスの食材を使ったお惣菜が中心で、当面は朝食と昼食のみの営業です。

第33回ジャパンウィーク 11月にストラスブルで

国際親善協会の主催により毎年世界各地で開催されているジャパンウィーク、今年はフランス・アルザス地方のストラスブル市で11月下旬さまざまな行事が繰り広げられる計画で、1500人の日本人が参加します。参加者募集中。詳細は日本旅行津支店 059-226-5571 名和さんまで。

「熊野修験」写真展 パリで話題に

玉城町在住の写真家・森武史さんが長年追求してきた熊野山中での山伏の修行をテーマにした作品展が、2月14日からパリ11区の日仏文化センター・ギャラリーで開催されました。作品は伊勢和紙に（前号で「布地」と書いたのは誤り）プリントされた巨大なものをふくむ40数点で、鑑賞に訪れた多くのフランス人たちも興味深そうに見入っていました。14日のヴェルニサージュ（開幕式）には熊野現地から3人の山伏も参加、ほら貝を吹き鳴らして神秘的な空気をかもし出しました。会場を訪れた小菅暁子さん（パリ在住亀山市出身）は「修験道には関心があり夫（フランス人）と観にきました。会場のフランス人たちも熊野古道に興味津々でした。熊野山地は日本でも稀有の魅力をもつ地だけに、もっと旅行や滞在に関する情報がこちらでも必要だと思います」と語っていました。（写真は小菅暁子さんによる）



3/9(日)

ドミニク・ドゥーセの指導による フランス家庭料理講習会（主催事業）

全国的に名高い鈴鹿市のブーランジェ「ドミニク・ドゥーセの店」のドミニクさんの指導による料理教室です。定員は20名、希望者は事務局（090-4867-1476滝澤）まで申し込んでください。

3月9日（日）午前10時より午後2時までの予定 津市白塚市民センター

献立：アンディープのグラタン、ポークとレンズ豆の煮込み、りんごのオープン焼き

参加費：材料費など 2,500円

豊田三重大学長（本会会長）のブログ「ある地方大学長のつぼやき」から フランス大使館にて

今、フランス大使館のホームページを開いていただくと、「全国日仏協会の集い」という記事があると思います。クリックをしていただくと、(http://www.ambafrance-jp.org/article.php?id_article=2136)

「全国日仏協会の集いが2007年11月9日、駐日フランス大使夫妻の主催で、東京都港区のフランス大使公邸で開かれました。全国各地の日仏協会37団体の代表をはじめ、フランス名誉領事、在日フランス人の協会の代表ら大勢が出席しました。（・・・）」

と書いてありますが、それに添えられている写真をよく見ると、真ん中がル・リデック大使で、向かって右側が私で、左側に三重日仏協会副会長の井土真杉さんが写っています。三重日仏協会は07年で20周年を迎えました。会長は三重大学の歴代の学長が務めており、私も04年から会長を務めています。今回の集いに出席した私と井土さんが写っているわけです。

「なーんだそれだけか」と思われるかもしれませんが、大勢の人でごった返していた集いで、多くの写真が撮られた中から、わざわざ私どもの写真がトップにアップされているのは、単なる偶然だけではないように感じています。

実は… この先に興味をおもちの方は

<http://www.mie-u.ac.jp/blog/2007/12/post-21.html> をご覧ください。